

JBA OFFICIAL BASKETBALL RULES 2020

RULES EXERCISES

VOL.3

ルールエクササイズ vol.3
(2020年7月15日配信)

【B級・A級・S級審判ライセンス、3級・2級・1級・T級審判インストラクターライセンスの皆さま】

新型コロナウイルスの影響により、本年度のライセンス更新に係るルールテストは従来の形では実施いたしません。
ルールテストの代わりに本ルールエクササイズを配信いたしますので、ぜひ競技規則や問題集を閉じてトライしてみてください。



QUESTION 11

プレーのインターバル中はプレーする資格があるチームメンバーは全てプレーヤーであるとみなされる。(○ / ×)

QUESTION 12

A1はドリブルをしながらバスケットに向かってドライブしている。右足が床に触れている状態でボールを掴み、その足で踏み切って右足、左足の順にステップを踏み、その左足で踏み切って一連の動作でショットをした。審判は0歩目を適用し、このステップはトラベリングのバイオレーションではないと判断して、プレーを続行させた。(○ / ×)

QUESTION 13

A1があたかもB1にファウルをされたかのような印象を与えるように頭を動かした。審判はフェイクの警告として、「レイズ・ザ・ローワー・アーム」のシグナルを2回示した。その後、A1はさらに、あたかもB1に押されたかのような印象を与えるようにフロアに倒れた。最初に「レイズ・ザ・ローワー・アーム」のシグナルを示した後、ゲームクロックは一度も止まっておらず、審判はそのフェイクの警告についてA1とヘッドコーチAにコミュニケーションする機会がなかったが、A1にテクニカルファウルを宣した。(○ / ×)

QUESTION 14

A1はツーポイントフィールドゴールエリアからのショットの動作中にB1からパーソナルファウルをされ、さらに同じショットの動作中にB2からアンスポーツマンライクファウルをされ、ショットは成功しなかった。先に起こったB1によるパーソナルファウルのみを記録し、B2のアンスポーツマンライクファウルはなかったものとする。パーソナルファウルの罰則としてA1に2本のフリースローが与えられ、ゲームは通常の最後のフリースローの後と同様に再開される。(○ / ×)

QUESTION 15

第2クォーターで、A1がフロントコートでドリブルをしているとき、A2はテクニカルファウルを宣せられた。シューター以外のプレーヤーはリバウンドの位置にラインナップせずにフリースロー1本がチームBに与えられる。チームAはゲームが止められたときにボールがあった場所に最も近いアウトオブバウンズからスローインを与えられ、ショットクロックは継続となる。(○ / ×)

今回のルールエクササイズの解答と解説は、【ルールエクササイズ vol.4】(2020年8月15日配信予定)とともに配信いたします。

JBA公式ホームページでは、競技規則、JBAプレーコーリング・ガイドライン、ルールテスト問題集などをご確認いただけます。

<http://www.japanbasketball.jp/referee/>